

【自動体外式除細動器】

AED
Automated External Defibrillator

フクダ電子株式会社 〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4

フクダ電子ホームページ https://www.fukuda.co.jp/

AEDコールセンター 0120-86-1817

月～金 9:00～17:00（祝祭日、休日を除く）
上記受付時間外、緊急時24時間電話対応

↓一次救命の流れがご覧になれます↓

AEDの使い方は、こちらからアクセス
https://www.fukuda.co.jp/aed/about/howtouse/

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケーターや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。

AED設置者及び管理者は品質保証及び安全管理の為、以下の内容の確認をお願いいたします。

1. AED設置の際はAED管理者を設置し、製造販売業者の推奨する保守点検を行い、いつでも使用できる状態に管理する事。
   特に電極パッド・バッテリパックの使用期限の確認及び、期限内の交換は確実に実施する事。
2. AED設置者及び管理者は、AED管理表示ラベル上に明記された消耗品等の使用期限を確認する事。
3. AED設置者及び管理者は、AEDに不測の事態が発生した時及び、譲渡時（高度管理医療機器等販売業の許可業者に限る）、廃棄時には、製造販売業者又は販売業者等の連絡先に連絡する事。製造販売業者又は販売業者からの情報提供方法等（交換時期のお知らせ等）について確認する事。
4. 電極パッドは使い捨てなので、再使用する事は禁止。
5. 導入の際には必ず添付文書を確認する事。

M1P1076SK NP.No.20261014Ⓚ

【自動体外式除細動器】

AED

Automated External Defibrillator

ハンドブック

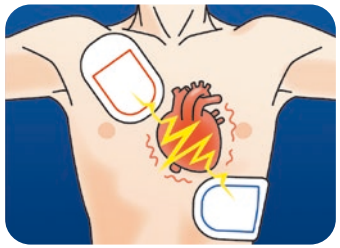


FUKUDA DENSHI

AED（自動体外式除細動器）とは

突然の心停止から命を救うため
痙攣（けいれん）を起こした心臓に電気ショックを与える装置です。
操作は音声ガイダンスにより指示され、電気ショックが必要かどうかも
AEDが判断します。
高度な専門知識を必要とせずに操作することができます。

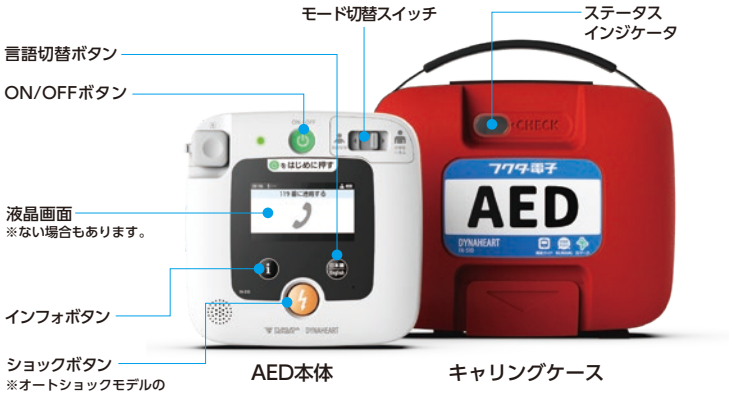
●除細動とは？



除細動とは、主に心室細動を起こした心臓に
電気ショックを与えることです。
電気ショックにより心臓の痙攣（けいれん）を停止させ、
その後、規則的な収縮が再開してポンプ機能
を取り戻すことができます。

●AEDの特徴と各部の名称

- 操作が1・2・3のステップで使用可能
- 音声による操作ガイダンス
- 電気ショックが必要かどうかをAEDが判断
- 使い捨てバッテリ駆動
- メンテナンス・フリー（セルフテスト機能搭載）



AED本体　　キャリングケース



電極パッド

AED（自動体外式除細動器）
FA-S1D（音声ガイダンス＋画面ガイド）
医療機器承認番号：30700BZX00155000
一般的名称：非医療従事者向け自動除細動器
販売名：FA-S1シリーズ
高度管理医療機器
特定保守管理医療機器
製造販売業者：フクダ電子株式会社

AED
Automated External Defibrillator

●AEDは身近な存在に

AED
Automated External Defibrillator

2004年7月1日より医師や救急救命士だけではなく、
現場に居合わせた一般市民もAEDが使用できるようになりました。
現在では公共施設や事業所などさまざまな場所にAEDの設置が進み、
市民の方による使用や救命事例が多く報じられています。
AEDが身近になるにつれて、救命率も高まっています。



駅などの公共交通機関

公共交通機関

主要鉄道、地下鉄、空港等様々な公共交通機関に設置
されています。近年では特急列車、バス、ごみ収集車、
トラック等への車載も進んでいます。

商業施設

大型商業施設に設置。インフォメーション、防災セン
ター、各フロアに設置され、どこでお客様が倒れても救
命できる体制を整えています。フロアマップにもAED
の位置が明記されているので、ぜひ探してみてください。



全国の店舗に設置



フクダ電子アリーナ

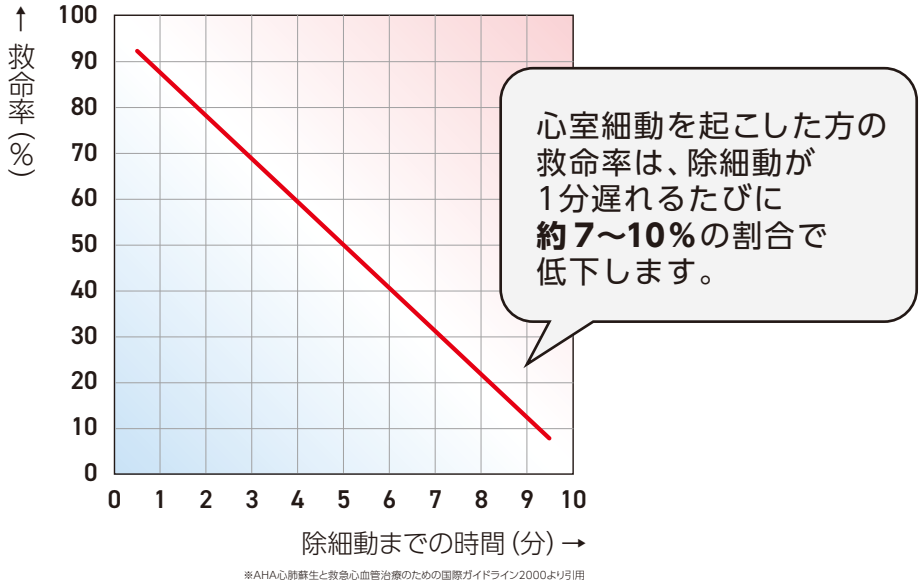
スタジアム

11台のAEDがフクダ電子アリーナ内に設置。安心で
きる施設環境の提供と、来場者、スポーツ選手、スタッ
フの健康管理・維持を目的としてサポートしていきます。

心臓突然死とは

いつでも、どこでも、誰にでも起こるかもしれないこと、
それが心臓突然死です。
心臓突然死の多くは、心室細動と呼ばれる不整脈によっておこります。
心室細動になると、心臓が不規則に痙攣(けいれん)して、
血液を全身に送り出すポンプ機能を果たせなくなります。
心室細動は、やがて死に至る非常に危険な状態です。
心室細動の最も有効な治療法は、AEDによる電気ショック(除細動)です。

● 迅速な除細動の重要性



※AHA心肺蘇生と救急心血管治療のための国際ガイドライン2000より引用

救急車到着の前に現場に居合わせた発見者(バイスタンダー)により、1分1秒でも早い電気ショックを行うことが救命の鍵を握るのです。

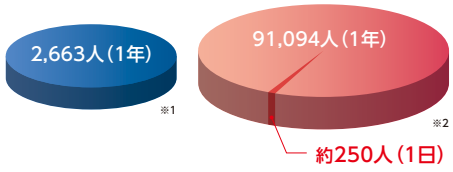
● 突然の心停止

突然の心停止は交通事故死より多いです。

発生人数

日本でも、1日約250人の方が突然の心停止になっています。

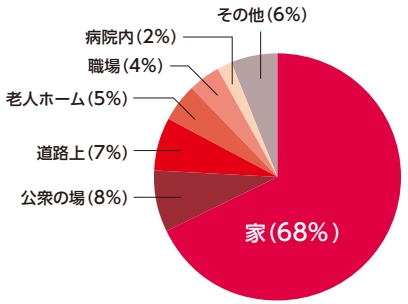
交通事故死者数 ＜ 心原性心肺機能停止



※1「令和6年における交通事故死亡事故の発生状況等について」警察庁交通局調べ
※2 「令和7年版 救急救助の現況」総務省消防庁調べ(令和6年中の統計)

発生場所

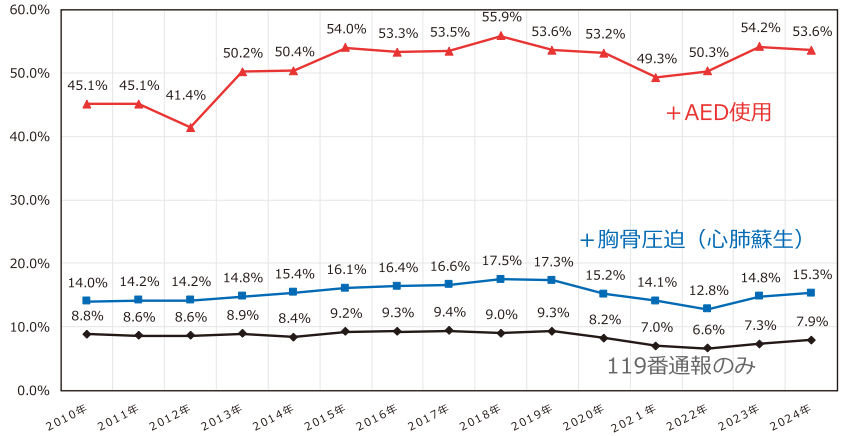
心停止の約7割が自宅で起きています。



※救急医療ジャーナル No70.2004.22-25

● 市民が胸骨圧迫とAEDを実施した場合の救命率

AEDを使用した救命処置を行うと **救命率は格段にあがります。**



※総務省消防庁報道資料「令和7年版 救急・救助の現況」より「一般市民が目撃した心原性心肺機能停止のうち、一般市民が心肺蘇生等実施の有無別の生存率」

救命処置の流れ

AED
Automated External Defibrillator

● 救命の連鎖

「突然の心停止」を起こした方の命を救う為には、
「救命の連鎖」といわれる4つの行動を迅速に行うことが重要です。
その中でも特に【心停止の早期認識と迅速な通報】⇒【一次救命処置】を居合わせた発見者が早期に実施することで傷病者の救命率および社会復帰率を高めます。



● 胸骨圧迫の重要性

心停止になると、血液の流れが止まり、
脳や心臓、各種組織へ酸素や栄養が行き届かず、
数分で死に至ります。
胸骨圧迫を行う事で、血液を循環させる事ができ、
AEDによる除細動効果も著しく向上します。

**AEDが到着するまでの
胸骨圧迫により
救命率は向上します。**



● AEDと一次救命処置

AEDを組み込んだ一次救命処置の流れ （日本版ガイドライン 2025 対応）

1 反応の確認／応援を呼ぶ

反応の確認
肩をたたく、声を掛けて、反応があるかを確認。



応援を呼ぶ
大きな声で助けを呼ぶ。
AEDを持ってきてもらう。



呼吸を見る
胸と腹部の動きを10秒以内で確認。



正常な呼吸がない、
もしくは迷う場合は、
AED到着まで心肺蘇生法を実施

2 心肺蘇生法

100回～120回／分のリズム

胸の真ん中(胸骨の下半分)を約5cm沈むよう胸骨圧迫

※人工呼吸が可能なら胸骨圧迫30回と
人工呼吸2回の組み合わせで救命処置を継続します。
※6cmを超える過度な圧迫避けてください。

119番通報後、通信司令員から心肺蘇生の口頭指導を受けることもできます。





3 AED到着

①ON/OFFボタンを押して電源を入れます。
②パッドを装着し、解析を行います。
③誰も倒れている人に触れていないことを確認。ショックボタンを押す。

音声ガイダンスに従って操作します。



電気ショックが必要かどうかはAEDが判断します。





AEDは2分毎に再解析を行います。意識が回復するか救急隊が到着するまで、
電源は切らずにそのままAEDの指示に従って心肺蘇生法を続けてください。

オートショックAED

●オートショックAEDとは

オートショックAEDは電気ショックが必要な時に自動で実行します。
これにより電気ショックの早期実行や救助者の精神的負担の軽減が期待されます。



AED（自動体外式除細動器）
FA-A1D
（音声・画面ガイド＋オートショック）
医療機器承認番号：30700BZX00156000
一般的名称：非医療従事者向け自動除細動器
販売名：FA-A1シリーズ
高度管理医療機器
特定保守管理医療機器
製造販売業者：フクダ電子株式会社



一般的なAED※	オートショックAED
ショックボタンあり 操作者がショックボタンを押す必要あり	ショックボタンなし ショックが必要な時は自動でカウント開始

自動のショックによって操作者の心理的負担を軽減します。

※ショックボタンを有するAED

●救命のためには電気ショック実行が重要

AEDの設置は進んできましたが、現在の日本では電気ショック実行までたどり着く件数が少ないと言われています。電気ショック実行時と未実行時の1か月後生存率は大きな差があり、オートショックAEDはその最も重要な電気ショック実行を自動で行うことで、ユーザー起因のショック未実行を防ぐことができます。



心臓が原因の心停止のうち一般市民の目撃があるもの
年間約27,000件

除細動実行は約1,500件
たった5%



除細動実行が重要
1か月後生存率
約50%

心肺蘇生・除細動未実行
- 間違えたらどうしよう
- ショックボタンを押すのが怖い
- 本当にボタンを押していいのだろうか
- AEDを取り外してしまった



1か月後生存率
約8%

※総務省消防庁「令和7年版 救急・救助の現況」より

●動作の違い

オートショックAED

AEDがショック必要と判断すると
自動でカウントダウンが開始します。



一般的なAED

オートショックAEDの使い方を映像で見てみましょう。

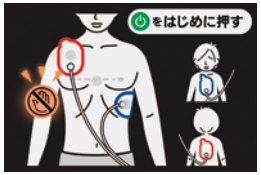
●適切にオートショックAEDを操作するために

AEDが手順に連動して液晶画面やLEDライト表示で操作者をサポートします。

Visual Countdown機能

光り方（フラッシング）でショックするタイミングを操作者にわかりやすく伝えることができます。







AED（自動体外式除細動器）
FA-A1B（音声ガイド＋オートショック）
医療機器承認番号：30700BZX00156000
一般的名称：非医療従事者向け自動除細動器
販売名：FA-A1シリーズ
高度管理医療機器
特定保守管理医療機器
製造販売業者：フクダ電子株式会社

オートショックAEDのロゴマーク

バイスタンダーがオートショックAEDだと認識しやすいよう、メーカーで統一して使用されています。

AEDの取り扱いについて

●未就学児への適用



およそ6歳未満の未就学児には**未就学児モード**にて
AEDを使用してください。

●バイリンガル機能



言語ボタンを押すとガイダンスを
英語に切り替えることができます。

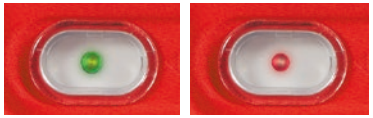
●日常点検の必要性

**AEDは
日常点検が
必要です。**

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。AEDの設置に際しては、「点検担当者」をお決めいただき、設置したAEDの日常点検等を実施してください。

AED本体のステータスインジケータのチェック

AEDは常に使用可能な状態をキープするため毎日自動セルフテストが行われます。
このセルフテストによって異常が発見される可能性がありますので、日常点検=目視によるチェックが必要です。



キャリングケース上部にあるインジケータが
正常時は緑色に点滅。異常時は赤色に点灯します。

パッドの使用期限確認方法

パッドの貼付面には粘着性の素材が使用されており、使用期限を経過するとパッドの貼付面が乾燥することにより、十分な除細動効果が得られない恐れがあります。
また、パッドはディスポーザブル(使い捨て)タイプですので、一度使用・開封したものも交換が必要です。



電極パッド

バッテリの使用期限管理方法

バッテリには使用期限があります。
消耗品期限管理タグで、交換時期を管理するようにしましょう。



バッテリパック

●AEDの使い方 Q&A

Q AEDはどんな人に使うべきでしょうか?

A 声を掛けても全く反応がなく、正常な呼吸をしていない人に使用してください。

Q 金属床上での使用は可能でしょうか?

A 使用可能ですが、パッドを金属面に接触させないでください。

Q 濡れた場所では使用できるのでしょうか?

A 使用可能ですが、傷病者を水中から引き上げてください。傷病者の胸が濡れている場合は、タオル等で水をふき取った後、パッドを装着してください。

Q 間違ってパッドを逆に貼ってしまいました。

A そのままAEDの解析結果を確認してください。逆に貼ってしまったとしても解析ができます。もしAEDからパッドを貼りなおすようガイダンスが流れたら貼りなおしてください。

Q AEDの廃棄方法を教えてください

A 医療機関、企業、公共機関等の場合、産業廃棄物として廃棄してください。個人所有等の場合、一般廃棄物として各自治体の処分方法にしたがって廃棄してください。

Q 衣服をすべて脱がせる必要はありますか?

A 素肌にパッドを貼ることができれば、服をすべて脱がさなくてもよいです。

Q 健康な人へ使用したらどうなりますか?

A AEDが心電図解析の結果、電気ショック不要と判断するのでショックは実行されません。

Q AEDを使用して法律に触れることはありませんか?助からなかったときに訴えられることはありませんか

A 救命の現場で一般市民の方がAEDを使用する際に資格は必要ありません。
また、処置を行ったが残念ながら救命できなかった場合でも、民法の「緊急事務管理」に係る規定によって悪意や重過失のない救助者が責任を問われることは無いとされています。

Q AEDからショック不要の音声が流れました。その場合は何もしなくていいのでしょうか?

A ショック不要の場合でも胸骨圧迫を続けてください。心臓が完全に動いていない状態に電気ショックを実行しても効果がないため、ショック不要と案内します。しかし胸骨圧迫を行うことで心臓の痙攣が復活し、電気ショックが実行できるようになる場合もあります。

Q 予備パッドは必要でしょうか?

A 緊急時に落として使えなくなる場合があります。その際に予備の備えがあると安心です。

●AEDの安全性

電気ショックが必要かはAEDが判断

AEDが心電図を解析し、必要に応じて電気ショックのエネルギーを充電します。ショックが不要な場合に誤ってボタンを押してしまったとしても、電気は流れないようになっています。(一般的なAEDの場合)

長寿命のバッテリ

AEDのバッテリは、救命の現場での使用を目的として作られているので、小型、軽量であり、安全性にも優れており充電不要です。定期的な交換が必要になりますので、消耗品期限管理タグにて次回交換時期を確認できるようにしましょう。

毎日行われるセルフテスト

必要なときにいつでも使用できる状態を保つために、AEDは毎日自動的に点検しています。
ステータスインジケータを確認することで、AEDが使用できる状態かどうかをすぐに確認することができます。

電極パッド

パッドには使用期限が記載されておりますので、そちらを目安に交換をお願いいたします。
貼り間違えた場合や湿った場所への貼り付けで粘着性がなくなってしまう事態に備えて、予備パッドを備えている場合もあります。